



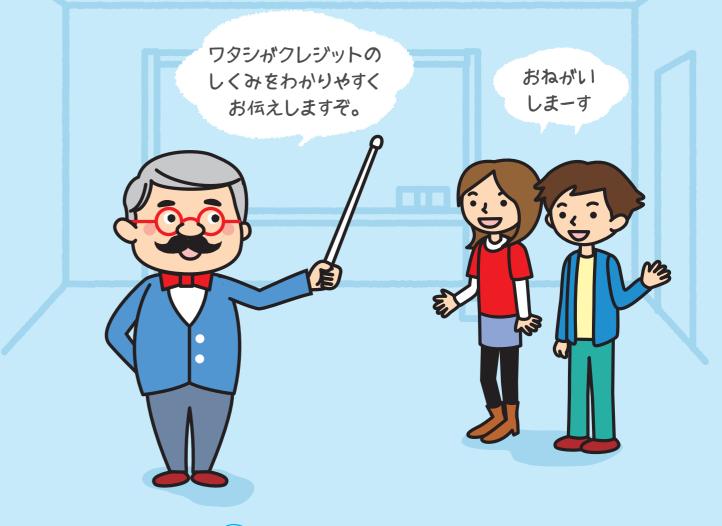


編集・発行 一般社団法人 日本クレジット協会 クレジット教育センター

〒103-0016東京都中央区日本橋小網町14-1住生日本橋小網町ビル6階 TEL 03-5643-0011 (代表) FAX 03-5643-0081 http://www.j-credit.or.jp/

複製ならびに内容を転載する際にはご連絡ください。









この冊子は再生紙を使用しています。

はじめに

18歳以上になると、購入しようとする商品やサービスを手に入れる方法 として 「クレジット」 を選ぶことができるようになります。

クレジットは、私たちの「信用」をもとにした契約で、商品やサービスの 代金を後払いにすることのできる金融サービスです。仕組みを正しく理解して 利用すれば、生活を豊かにする有力な手段になります。ただし、無計画な 使い方をすると、自らの生活を破綻させる結果にもなりかねません。利用に あたっては、金銭の管理や支払いに関する計画性など、必要最低限の知識が 必要です。この冊子では、みなさんがクレジットを利用するにあたって知って おいてほしいことをまとめました。冊子の構成は項目をいくつかに分けて わかりやすくしています。ぜひ内容を一読していただき、今後、クレジットを 利用する際の参考にしてください。

> 日本クレジット協会 クレジット教育センター



クレジットについて 説明してくれる クレジット先生

1.	クレジットってどんなもの?
2.	クレジットはどんなしくみなの? 4
3.	クレジットを利用する方法は? 5
4.	どうしてクレジットだと後払いができるの? 6
5.	どのように「信用」を判断するの? 7
6.	指定信用情報機関ってどんなところ? 8
7.	個別方式のクレジットの利用方法は?9
8.	どうしたら、クレジットカードがつくれるの?10
9.	クレジットカードはどのように利用するの?11
10.	インターネットで利用する際に気をつけることはなに? 12
11.	クレジットにはどんな支払い方があるの?13
12.	こんなときどうする?14
13.	クレジットの良いところ、注意するところは?16
14.	クレジットを利用するときに気をつけたいことは?17
	「考えてみよう」について18



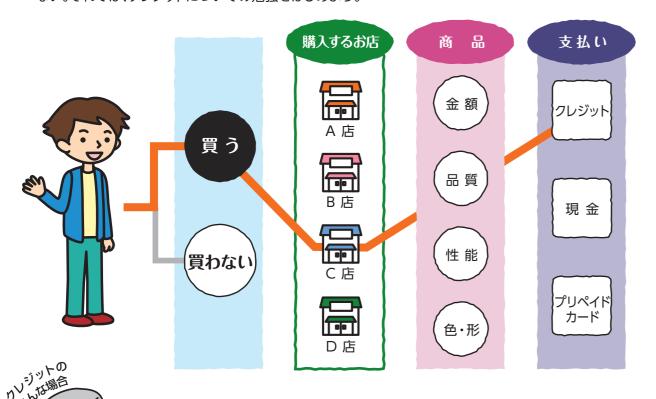
クレジットってどんなもの?



クレジットは「代金後払い」のシステムのこと。商品やサービスの代金をその場で支払うのではなく、後で支払うしくみで、自動車や電化製品、旅行や食事など、私たちが日頃利用する大部分の商品やサービスに使うことができる。商品等を購入する時、私たちはいくつかの選択をする。

- 1 必要性の選択(その商品やサービスが自分にとって必要なものであるかどうか)
- 2 購入するお店の選択(商店街で買うか、デパートやスーパーマーケットで買うかなど)
- 3 実際に購入する商品の選択(金額、品質、性能などを参考に選ぶ)
- 4 支払手段の選択(現金にするか、後払いにするか、プリペイドカード等の前払いにするかなど)

クレジットは 4 の段階で私たちが選ぶことのできる支払手段の1つ。ただし、誰でも利用できるものではない。クレジットは「後での支払いができる」という「信用」を基礎にした契約で、「信用」がなければ利用できない。それでは、クレジットについての勉強をはじめよう。



考えてみよう(1)

中学生や高校生はクレジットが利用できない。それはどうしてだろう。



2

クレジットはどんなしくみなの?



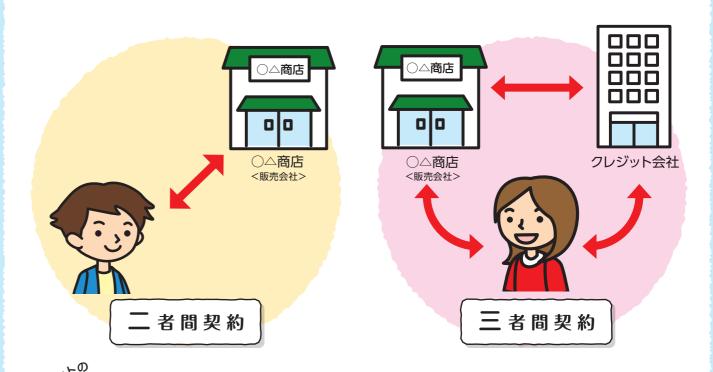
クレジットのしくみは2つに分けることができる。

1つは、商品等の販売会社に代金を後払いにしてもらうしくみ。このしくみを「二者間契約」と呼び、分割で支払う場合には「割賦販売」という。ここでは商品等の購入先と代金の支払先は同じ。例えば、〇△商店で商品を購入したら、その代金も〇△商店に支払っていくことになる。

もう1つは、私たちと販売会社のほかに専門のクレジット会社が入るしくみ。私たちが販売会社で買った商品等の代金をクレジット会社が立て替えて販売会社に支払い、後日、私たちはクレジット会社に立て替えてもらっている代金を支払う。このしくみを「三者間契約」と呼び、分割で払ったり、利用してから2ヶ月を超えて代金を払う場合は、「信用購入あっせん」という。

二者間契約との違いは、商品の購入先と代金の支払先が異なることだ。

現在使われているクレジットの多くは「三者間契約」のクレジット。この冊子でも「三者間契約」のクレジットを中心に勉強していくことにする。



2 考えてみよう 2

「三者間契約」のクレジットの場合、クレジットで買った商品を交換したいときなどの相談先はどこだろう。また、支払いについての相談はどこにしたらいいだろう。



クレジットを利用する方法は?



個別方式

クレジットを利用するには2つの方法がある。

1つは、商品等を購入しようとするときに、その商品 等の購入にクレジットを利用するための申込書を 書いて提出し、クレジット会社(二者間契約の場合は 販売会社)の審査を受けて利用するクレジット。これを 「個別方式」という。パソコンを購入するのであれば、 そのパソコンを購入するためのクレジットの申し込み をして審査を受けることになる。

審査にパスすれば、その商品等を後払いで購入する ことができる。商品等の購入をするたびに申込書を 書き、審査を受けるクレジットだ。

自動車などの高額な商品や携帯電話等の購入に多 く利用されている。



クレジットカード

もう1つは、「クレジットカード」を利用する方法。

クレジットカードを持つためには、クレジット会社 (二者間契約の場合は販売会社)にカードの発行を申し 込まなければならない。申込書に必要事項を書いて、 クレジット会社に提出して審査を受ける。

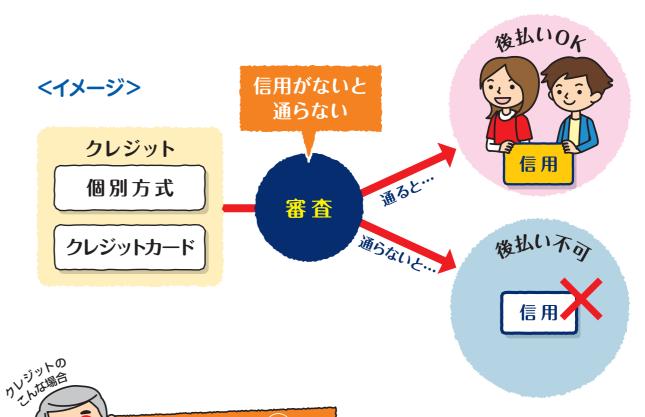
審査にパスすればクレジットカードが発行される。 クレジットカードには通常、利用可能額(そのカード が利用できる金額の制限)、有効期限(そのカードが利用 できる期間の制限)があるが、その範囲内であれば、 発行されたクレジットカードを使って後払いで商品 の購入やサービスの提供を受けることがくり返し できる。





「個別方式」でも「クレジットカード」でもクレジットを利用するためにはクレジット会社(二者間契約の 場合は販売会社)の「審査」を受けなければならない。審査とは私たちの「信用」を判断する業務で、後払い ができるのは、この「信用」のおかげ。クレジットでいう「信用」とは「後日、確実に支払いができるかどうか」の 尺度のことで、利用しようとするクレジットに対して「信用」が足りなければそのクレジットは利用できない。 クレジットの利用には契約にふさわしい「信用」が必要ということになる。

買い物に行って、財布を忘れてしまった時のことを考えてみよう。近所のよく行くお店なら、「今度 来たときに払ってくれればいいよ」と言ってくれるかもしれない。それはお店の人が私たちのことをよく知って いるからだ。ただし一般のお店ではそうはいかない。後払いを認めるためには、お店はその人が後で本当に 代金を払ってくれるかどうか、つまり「信用」できる人かどうかを確認しなければならない。そこで十分な 確認ができなければ、後払いはできない。



考えてみよう(3)

ふだん「信用」という言葉はどんな時 に使い、どんなことがもとになって いるのだろう。また、「信用」を高める ためにはどうしたらいいだろう。



どのように「信用」を判断するの?



個別方式でもクレジットカードでも、信用を判断する 業務=「審査」の基本は申込書(webなど電子的な方法 を含む)の審査になる。申込書には氏名、住所、勤務先、 収入などの項目があるが、各項目をいろいろな角度から 見て判断される。

一方、クレジット会社は申し込みが本人の意思で行われたのかを確認する。これは電話で行われることが多い。 また、自分の会社と申込者との間に過去にどのような 取引があったのかをチェックする。

最後に「指定信用情報機関」(P.8)に照会をして、申込者の利用実績をチェックする。「指定信用情報機関」には行政庁の登録を受けたすべてのクレジット会社が加盟していて、多くの人のクレジットの利用実績(利用の状況、支払いの状況等=特定信用情報)が登録されている。他の会社でのクレジットの利用実績を確認し、審査に利用する。

順番は多少前後することもあるが、右のような手続き を経て、契約するかどうかの審査の判断がされる。

ここでの主眼は「申し込んだ人が契約通り支払いができるかどうか」。個別方式の場合、支払いが長期にわたることもある。また、クレジットカードの場合は有効期限の範囲で自由にカードが利用できる。長い間つきあうパートナーを見極めるような仕事がクレジットの審査業務だ。



知りたいだろう。

HO

1 書類審査

申込事項をチェック

申込書 氏名:信用ヨシコ**ン** 年令:22歳 **ン** 住所:00000 **ン**

2 確認業務

申込に基づいての 申込者への確認

- •本人確認
- ・申し込み意思の確認



3 取引実績の確認

自社での 利用状況をチェック



4 指定信用情報機関の利用



5 審査の可否を決定

(上記の総合判断で決定)

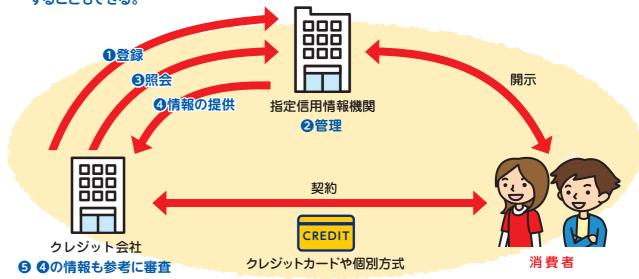


指定信用情報機関ってどんなところ?

指定信用情報機関はクレジット会社が審査の参考に利用する。機関とクレジット会社は次のような関係になる。

- 2 指定信用情報機関は登録された情報を管理する。
- **3** 消費者からクレジットの申し込みを受けたクレジット会社は指定信用情報機関に照会をする。
- 4 その消費者の情報が登録されていれば、指定信用情報機関はクレジット会社にその情報を提供する。
- **⑤** クレジット会社は**④**の情報も参考に審査をおこなう。

指定信用情報機関に登録されている情報は、本人を確認するための事項(氏名、生年月日、住所等)、 契約に関する内容(契約の種類、契約年月日、商品名、契約額、支払いの記録、支払いの残高等)など。もちろん 思想や趣味などの項目は含まれていない。また、利用はクレジットの審査のためだけに限られている。 なお、登録されている自分の情報は確認(開示)できるし、間違っていればクレジット会社に訂正を請求 することもできる。



る。 多さであよう

5

> 銀行や消費者金融会社も指定信用情報機関を利用した審査を行っている。 指定信用情報機関を利用しないと どうなるのだろう。



9

個別方式のクレジットの利用方法は?



一般のお店で商品を買うことを考えてみよう。購入する商品が決まったら、販売員にクレジットを利用 したい旨を伝える。申込書は販売店に用意されている。申込書には大切な事柄が書いてあるから、表面だけ でなく、裏面もよく確認しよう。特に商品名や金額、支払回数、手数料などは、最も重要な項目なので十分に 確認する。

次に申込書に必要事項(氏名、住所、勤務先、年収等)を記入して販売員に渡す。記入する事項はクレジットの 審査に必要な事柄だから正確に記入する。この時、申込書の控を受取る。この控は自分がどのような 契約の申し込みをしたかの証拠となるものだ。支払いが終わるまで保管しておこう。

記入した申込書はお店からクレジット会社に渡る(ここまでの過程をwebを用いて行うこともある)。 クレジット会社は申込書の内容に基づき審査をするが、電話で申込者に申込内容の確認をする場合もある。 これは申し込みが本人のものであるか、納得して申し込んでいるかの確認だ。

審査にパスすれば商品を受取れる。代金は契約内容に基づいて、後日クレジット会社に支払う(多くは 金融機関の預貯金口座から自動引落し)。



考えてみよう 6

「名前を貸して」と頼まれて、他人が 自分の名前で個別方式のクレジット を申し込んだら、どうなるのだろう。



どうしたら、クレジットカードがつくれるの?

クレジットカードをつくるにはクレジットカードの申込書が必要。申込書は販売会社や金融機関のカウンター などに用意されているが、クレジット会社から取り寄せることもできる。ネット申し込みができる会社もある。 申込書(フォーム)に必要事項(氏名、住所、勤務先、年収等)を記入(入力)してクレジット会社に提出(送信) するが、申込書やパンフレット、事前に示される規約にはカードを利用する際に大切なことが書かれている。

そのカードの特典だけでなく、内容をよく確認することが必要だ。

クレジット会社は、申込内容をもとにカードを発行するかどうかの審査をする。この時、個別方式と同じ ように申込者に確認の電話をする場合もある。

審査にパスすればクレジットカードを手に入れることができるが(通常は送られてくる)、カードととも に会員規約(webやアプリなど電子的交付も含む)を渡される。会員規約にはカードを利用する上での クレジット会社と私たちとの約束事が書いてある。必ず確認して保管しておこう。

クレジットカードを手にしたら、裏面にサイン欄があれば自分のサインをしよう。



まずは 申込書の内容をよく 確認するんじゃ。



カンドがが場合

クレジットカードはどのように利用するの?



お店には利用できるクレジットカードのマークを示した ステッカーなどがある。自分のカードのマークと同じマークが 掲示してあればそのカードで買い物ができる。

一例だが、欲しい商品を選び、販売員にクレジットカードを 使いたいと伝える。販売員は支払方式(1回払い・分割払いなど) を確認して、クレジットカードが使えるように処理をしてくれる。

端末機に表示されている金額や支払方式などを確認した うえで、クレジットカードを端末機に差込み、暗証番号を入力する。

暗証番号の入力は端末機に表示されている内容を全て認める ということ。表示をしっかり確認することが大切。

最近では、タッチ(コンタクトレス)決済対応のクレジットカード もある。端末機にかざすだけで、スピーディーに決済できるが、 やはり端末機に表示されている金額や支払方式を確認することが 大切なことには変わりはない。

決済がされればその商品を受け取ることができる。

クレジットカードを利用した時には、伝票の控えを渡されるが、 これは自分がクレジットカードを使ってどんな買い物をしたの かの証拠になるから、後々のために必ず保管しておこう。

後日、クレジット会社から利用明細(請求書)が送られてくる。 最近ではWebやアプリですぐに確認できるサービスも増えて いる。カードを利用した際の控と利用明細の内容を確認しよう。 疑問があればクレジット会社に直に問い合わせること。

支払いは預貯金口座からの自動引落しが多い。

利用内容の確認と 暗証番号の入力 暗証番号の入力

商品と利用控を 受取る



利用明細の確認



考えてみよう(7)

クレジットカードを利用した控をすぐ捨ててし まうと、後でどんな不都合がおこるのだろう。 また、利用明細を確認しないでいると、どの ようなことがおこるのだろう。



最近では、インターネットの普及により、ネットショッピングでのクレジットカード決済が増えてきている。 一方で、インターネットは手軽に利用できる分、トラブルにつながるケースもあり、そのようなトラブルに巻き込まれ ないためにも注意が必要となる。

ネットショッピングでクレジットカードを利用する際には、クレジットカード番号や有効期限などのクレジット カード情報を入力する。トラブルを避けるためにも、契約内容や契約先の連絡先はプリントアウトするなどして必ず 控えておこう。

また、対面販売のように相手や商品が見えないネットショッピングでクレジットカードを利用する際は、利用する サイトで次のようなセキュリティ対策がされているか確認しよう。

- ・あらかじめ設定した送信先(Eメール、SMS、アプリなど)に送られてくる一度だけ有効なパスワード(ワンタイム パスワード)を入力する[3Dセキュア]など本人認証サービスや、クレジットカードの署名欄などに記載されて いる「セキュリティコード」(p.10のカード券面参照)など、クレジットカード番号や有効期限以外の追加認証 の導入がされているか
- ・「SSL*|「TLS*|などセキュリティ技術が導入されているか

会社情報や規約・約款・プライバシーポリシーなどを確認し、注意した上で利用するようにし、不審に感じた サイトについては利用しないようにしよう。

また、ネットショッピングをするためのIDやパスワードは、いろいろなサイトで使い回さず、他人にわかりにくい ものにしよう。

**SSL、TLS:インターネット上で情報を暗号化して送受信し、データの傍受やなりすましによる情報漏えいを防ぐセキュリティ技術で、現在広く使われている。SSL、TLSに対応している サイトは「https://]と表示され、保護されたページを表示するとURLの頭部などに鍵マークが表示される。





考えてみよう(8)

オンラインゲームサイトなど有料 サイトの支払いをクレジットカード で決済する場合はどんなことを 注意すればよいだろう。



クレジットにはどんな支払い方があるの?



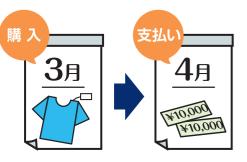
こんなときどうする?



代表的な支払いの方式は次の4つ。利用する商品やサービスの金額や性質に応じて選択しよう。

1回払い

支払い期日に1回で支払う方式。一般的に 手数料はかからない。



分割払い

利用時に支払回数を決めて分割して支払う 方式。手数料がかかる。回数を多くすれば 月々の支払額は少なくなるが、手数料がその 分かかる。

3

回数を決めての支払い



2 ボーナス一括(1回)払い

利用した翌ボーナス時期に一括で(1回で) 支払う方式。一般的に手数料はかからない。 4月に10万円のテレビを買うと、夏のボーナス 時期に代金の10万円を支払うことになる。



4 リボルビング払い

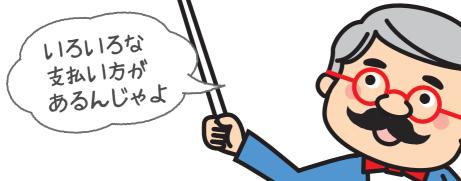
リボ支払残高に対して毎月支払う一定額を 決め支払う方式。手数料がかかる。支払いが いつ終わるかはカードの使い方によって 変わり、残高がある限り支払いは続く。

月々の支払金額を決めての支払い







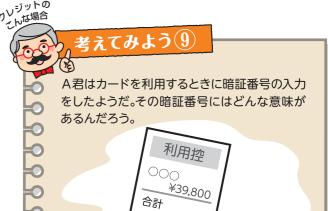


1 金額確認とサイン

A君はクレジットカードで29,800円の電化製品を買った。ところが、後日、クレジット会社のアプリで利用明細を確認すると、39,800円とある。あわててカードを利用した控を確認すると、やはり39,800円となっていた。A君はいくら支払わなければならないのだろうか。

A 3

39,800円支払わなければならない。



2 クレジットカードの貸し借り

B君はC君に頼まれてクレジットカードを貸した。 後日、C君はカードを返してくれたが、クレジット 会社のアプリで利用明細を確認するとC君が 利用した分も含まれている。B君はC君の分も 支払わなければならないだろうか。



B君はC君が利用した分も 支払わなければならない。



3 クレジットカードの紛失・盗難

Dさんは旅行に出かけて、何度かクレジット カードを利用した。ところが、帰宅して旅行に かかった費用を計算しているときに、カードを なくしてしまったことに気がついた。 どうすれ ばいいだろうか。



すぐに警察とクレジット会社に届け出る。



こんなときどうする?

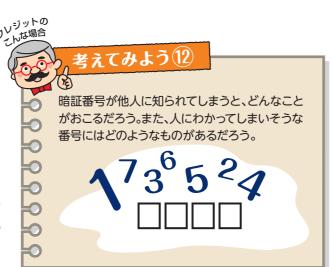


クレジットの良いところ、注意するところは?

4 クレジットカードの暗証番号

Eさんはクレジットカードを申し込むために、 クレジット会社のホームページを見ている。 申込画面には暗証番号(4ケタの数字)の登録欄 がある。どんな数字を登録したらよいだろうか?

他人にわからないような4ケタの数字。 生年月日、電話番号などの数字はさける。



5 クレジットで買った商品が届かない場合

Fさんは分割払いのクレジットを利用して10万円 の家具を購入した。商品は2週間後の配送だ。 しかし、1ヶ月たっても届かない。店に連絡が つかず、まもなくクレジット会社への支払いが 始まってしまう。Fさんはどうしたらいいだろうか。

クレジット会社に状況を説明する (家具が届くまでクレジット会社への 支払いを停止することができる)。

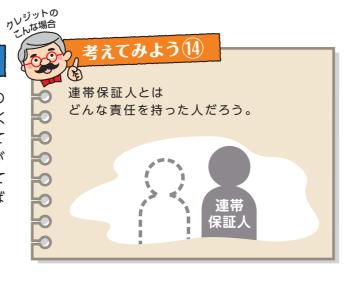


6 連帯保証人

G君は友人のH君が自動車を購入するための クレジットの連帯保証人になった。しばらく して、クレジット会社からH君の支払いをして ほしいとの連絡があった。H君とは連絡が 取れない。車とともに行方不明になって しまった。G君はH君の支払いをしなければ ならないだろうか。

A

支払いをしなければならない。



クレジットの良い面としては次のことがいわれている。

- ①後払いで商品等の購入ができる。
- ②支払いを分割することによって、高額な商品も買うことができる。
- ③キャッシュレス(その場で現金を支払わない)で商品等の購入ができる。

また、注意しなければいけない面としては次のようなことがいわれている。

- ①便利であるだけに、特に必要のない物まで買ってしまうことがある。
- ②利用しすぎると自分の支払能力を超えた支払いが発生することがある。

クレジットは確かに便利なシステムだが、便利だからといって何も考えずに利用をしていたら、後で支払いに困って しまうということになりかねない。クレジットの支払いは後払い。**支払いが終わるまでお金の管理ができるかどう** かの判断がクレジットを利用する上で最も大切なことだ。後の支払いを考えて無理のない範囲で利用しよう。





| 考えてみよう (15)

複数の会社に対して、多額の借金を 抱えてしまう状態を「多重・多額債務」 という。このような状態になる原因は 何か、考えてみよう。



16

クレジットを利用するときに気をつけたいことは?

9999999

HO

HO

500

HO

HO

HO

HO

HO

HO

999

Ho

HO

HO

HO

HO

HO

考えてみよう」について

各ページにある「考えてみよう」のヒントです。みんなで話し合ってみよう。

- 年齢的に、家族の収入で生活していることが多く、 学校に通っているため定期的な収入がない。つまり、 代金を後で支払うという約束をしても相手から 「信用」を得ることが難しい。
- 2) 商品についての相談は販売会社(売買契約の 相手)。支払いについての相談はクレジット会社 (立替払契約の相手)。つまり、相談の内容によって 相談先が異なる。
- 「信用できる商品」「信用できる会社」等いろいろな 時に使うが、それは経歴や実績に裏付けられている。 クレジットでいう [信用]も利用の履歴・実績に 基づいている。
- 初対面の人にお金を貸す人はまずいない。氏名、 住所、連絡先、勤務先、収入状態、人柄等その人が どんな人なのか知りたいはずだ。それは「貸した お金を本当に返してくれるか」という考えに基づ いている。クレジットの申込書にもいろいろな 記載項目がある。
- 申込書の内容と自分の会社での利用実績だけを もとに審査をしなければならず、他の会社での 利用実績を参考にできない。つまり正確な審査 ができない。審査が不十分だと、支払不能等が 発生し、消費者にもクレジット会社にも望ましい 結果とはならない。
- (6) このようなことを「名義貸し」という。自分が承諾 して名前を貸したのであれば、自分が契約した ことになってしまう。したがって支払いも自分で しなければならない。
- 利用の控はどんな契約をしたのかの証明になる ものだ。捨ててしまうと、後日請求の内容と実際に 利用した内容が違っていたとしても、それを証明 するものがなくなってしまう。また、利用明細を 確認しないと身に覚えのない利用があっても気が 付かず、利用を認めることになってしまう可能性 があるので注意が必要だ。
- (8) オンラインゲームなどの有料サイトでは、利用する 度に金額が発生するなどし、気づいた時には高額 な請求となってしまうケースがある。料金制度等 を十分確認した上で、「使いすぎ」には十分注意 することが必要だ。

- 9 A君は39,800円と表示された端末機に暗証番号 の入力をしたはずである。それは伝票の内容 (39,800円の電化製品の購入にクレジットを利用 する)を認めるという意味だ。
- 10) B君である。クレジット会社とC君とは何の契約 関係もない。つまり、クレジット会社はC君には 支払いを請求する根拠がない。支払いは全額B君 がして、C君が利用した分をB君に支払うという のが現実的な解決方法。ただし、カードの貸し借り は規約により禁止されているので、こんなことを したら、B君はカードを取り上げられてしまう。
- (11) カードを拾った第三者が、Dさんになりすまして 利用することが考えられる。カードを紛失した 届け出を受ければ、クレジット会社はそのカード が利用できないように手続きをするが、そのまま にしておくと悪用された分も支払わなければ ならないこともある。
- (12) 他人にカードを利用されてしまうことになりかね ない。また、生年月日や電話番号等を暗証番号に していると、それらが記載されている証明書(運転 免許証等)と一緒にカードを紛失したとき、悪用 されてしまうケースがある。
- 13) クレジット会社である。この事例の場合、家具(商品) に関する相談先である販売会社に連絡がつかない。 このため、クレジット会社に商品に関する相談(この 場合、販売店に連絡がつかず、家具が届かない)を し、家具が届くまでの間、クレジット会社への支払い を停止することができる。割賦販売法が定める 「支払停止の抗弁」である。但し、割賦販売法では 1回払いは抗弁権の対象とはなっていない。
- (14) 契約者とまったく同様の責任を持った人。G君 (連帯保証人)は、主債務者(H君)と連帯して 支払いをしなければならない。連帯保証人を引き 受けるときには自分が本契約者になったつもりで、 契約についての諸事項とH君の財産状況等を 確認することが必要だ。
- (15) 第一に「金銭管理の失敗」があげられるが、失敗 した原因には、クレジットやローンの利用の仕方、 無計画、経済や景気の影響などいろいろなもの が考えられる。

支払計画を立てる

クレジットは後払い。商品等の代金は必ず後で 支払わなければならない。当たり前のことだが、 このことを軽く考えていると後で後悔すること になる。収入や必要な支出を考えて無理のない 支払計画を立てよう。



2 支払条件を比較する

たくさんのクレジット会社があり、たくさんの クレジットカードが発行されている。それぞれ いろいろな特典や条件がある。手数料や支払 期間、支払方式など自分にあったものを 選んで利用しよう。







Α社

B社

C社

契約内容を確認する

クレジットは契約。契約には責任がつきもの。 後で「知らなかった」では済まないこともある。 個別方式のクレジットやクレジットカードの 申込書、カード利用時の伝票等にはよく目を 通して内容を確認しよう。また、控として受取った 書類は、どのような申込・契約をしたのかを証明 するもの。支払いが終わるまで必ず保管しておこう。



クレジットが便利だからといって必要以上に利用 することはない。購入しようとする商品や サービスが本当に必要なものかどうか、購入 にクレジットを利用する必要があるのかを考え よう。必要な買い物に利用してこそ、クレジット は牛活の心強いパートナーとなる。





「必要な時に利用」 が一番じゃな。

